

そうじの力だより

VOL.247



支援レポート

「従来が本来」を脱する
あるべき姿を思い描いて改善する

岡山県笠岡市に本拠を置き、中国にも拠点を持つ鳴本石材株。石材の輸入、加工、販売を行う、日本有数の石材メーカーです。

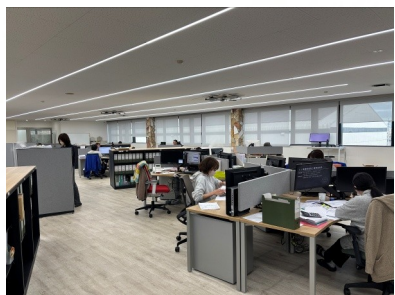
ここで、約一年前から、環境整備（整理・整頓・清掃）の取り組みのお手伝いをしています。

きっかけは、事務所のリフォーム計画。昔ながらの地味な事務所を、モダンなデスクやキャビネに換え、オシャレな事務所に变身させる計画です。

しかし、その前に、デスク上に積もっている書類やキャビネの中にパンパンに詰まっている書類や物品を整理・整頓し、癖づけをしなければ、せっかくのリフォームしても、すぐに乱れてしまう。鳴本太郎社長の健全な危機感が、私へのオーダーにつながりました。

まずは、セオリーどおり、デスクの上やキャビネの中に入っているものを、いったん全部出して、不要なものを捨てていきます。

事務所の隣に大きな会議室があり、その unnecessary の物の集積所に積んでいたのですが、活動する



リフォームし、机上ゼロになった事務所

たびに、ものすごい量の不要物が積みあがりました。

皆さんに考えてもらったのは、デスクとは本来、何のためにあるものなのか、ということ。デスクは書きものなどの作業する場所であって、書類を積んでいくスペースは、有効活用できません。

おかげで、整理・整頓の習慣が付き、リフォーム完了後も、机上ゼロが保たれています。

一方の工場内は、以前から環境整備に取り組んでいたこともあり、元々かなりキレイで整っていました。それでも、一年前はまだまだ改善の余地がありました。

一つは、不要物。自動倉庫の中や、第二倉庫の中二階などに、たくさん不要物が放置されていました。これらを徹底的に処分してもらいました。

また、

工具などが、床面に直置きされていたり、箱の中や、雑に置かれていたりしていたので、それらを、できるだけ壁掛け式にしてもらいました。



工具を壁掛け式にして乱れにくくした

興味深かったのは、字彫り原稿課です。当初、シヨットプラスト用の保護ゴムが、床面に所狭しと直置きされていた。「なぜこうしているのか？」と聞くと、

「他に場所がないから仕方がない」という反応でした。

しかし、何事も工夫次第です。ホームセンターで売っているような、メッシュラックを買って、多くの棚板を設置し、そこにゴムを置くことで、スペースが拡がり、作業性もグンと良くなりました。



【After】ラックを利用して直置きをなくした



【Before】床面に直置きされていた字彫り用ゴム

私が問題提起したときには、最初はピンと来ないようでしたが、活動を続けるうちに、皆さんの意識が変わっていき、後に、フォークリフトとクレーン作業をする人はヘルメットを着用し、他の人たちは帽子をかぶるようになりました。



ラインを引いてフォークリフトを定位置化

定位置化しました。

なんとなくこれまでやってきたことが当たり前だと思っていたところに、「本来あるべき姿はなんだろう」という問いを発するようになったことで、皆さんの問題を発見する力と改善する力が上がったと思います。

活動にあたっては、各部署からリーダーを選出し、毎回、事前に実行計画書を作ってもらい、活動後に振り返りをしてきました。各リーダーたちが、よく旗を振ってくれています。

鳴本社長は「環境整備ほど、人材育成に寄与する活動はない」と手応えを語ってくれています。（小早）

また、工場内での作業時に、当初は皆さん、頭にかぶっていませんでした。しかしこれでは、安全面でも規律面でも問題があります。

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



掲載記事紹介

月刊『人事マネジメント』2025年12月号

～人を育て組織を強くする整理・整頓のコツ～



企業の人事・労務担当者向け専門誌、月刊『人事マネジメント』に、「人を育て組織を強くする整理・整頓のコツ」と題して6回連載の記事を寄稿しています。第1回の「なぜ整理・整頓は人を育て組織を強くするのか」について、抜粋をご紹介します。

〈物事の仕組みや仕事のやり方を変えようとするときに、よく「意識を変えろ」と言いますが、意識を変えるのはとても難しいのです。頭を抱えてウンウン唸っていても、意識が変わるわけではありません。

意識というのは、目には見えません。だから、意識が変わったかどうかは、他の人が分からないだけでなく、当の本人も分からないのです。

一方で、整理・整頓・清掃は、物理現象

を変化させます。これは、見た目が変わるので、誰が見ても分かります。物理現象が変わると、それに応じて意識も変わります。〉

〈つまり、周囲の物理環境と我々の心は相互に関連しているのです。だから、意識を変えるための近道は、物理環境に手を加えて変化させることなのです。

仕事上のミスが多い場合には、不要な書類を捨てて、必要な物の置き場所を事細かに決めていきます。すると、物事をきちんと遂行する意識が芽生えます。

車の事故が多い場合には、車をキレイにしましょう。車室内には、余計なものを載せず、ボディも常にピカピカに洗車しておきます。すると、必ず事故は減るのです。〉

〈整理・整頓・清掃のよいところは、特段のスキルも経験も要らないので、誰にでもできる、ということです。学歴も肩書も要りません。社長も新入社員も、ベテランも若手も、みな同じ立場で取り組むことができます。

だから、社歴の浅い人や若い人でも、一生懸命に取り組めば、場が整ってキレイになるという「結果」を出すことができます。この「結果」は目に見えるので、周りの人に影響を与えます。

新人の活躍のおかげで職場がキレイになれば、同僚たちはその新人を「できる人材だ」と肯定的に評価することでしょう。一方で、新人本人にとっても、そうした評価が「やりがい」につながります。

実務そのものでは、まだ一人前の仕事をこなせなくても、整理・整頓の働きによって、会社に貢献しているという実感が得られるのです。〉

〈整理・整頓・清掃は、人材育成の格好の教材だという見方もできます。ですから、将来会社を引っ張っていく存在になってほしい人材には、まず、整理・整頓・清掃のリーダーを任せてみるとよいでしょう。〉

人事制度改革など、大掛かりな施策に取り組む前に、まずは環境整備に取り組むことをお勧めします。(小早)

編集後記

大相撲が熱い！

私が高校生の頃、千代の富士が全盛期で、よく大相撲中継を観ていました。

そして今また、応援している大の里が横綱になり、ウクライナ出身の大関・安青錦や、学生横綱の義ノ富士、伯乃富士、そして小兵の藤ノ川など、実力のある若手力士がどんどん出てきて、土俵上が大いに盛り上がってきました。

本場所のある期間は、毎日、夕方になると、そわそわドキドキして、他のことが手につきません！(小早)



飛鳥のつぶやき

いざDX！？

Googleのメール受信一部サービス廃止の流れを受け、弊社内でGoogle Workspaceを導入することに。

もともと無料版でも十分に仕事できていたので、有料化の必要性がいまいちわからなかったのですが、できることがものすごく増えてビックリ！

不便を認識しなければ重い腰を上げるには至らず、便利になってみれば不便だったことがどんどん見えてくる、というのは、色々なことに共通するものですね。

まだまだDX(?)進めていくぞー！(大概)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は“そうじ＝整理・整頓・清掃”を通じた企業風土改革を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)